

## 第1回 足羽川ダム環境モニタリング委員会

- ◎ 足羽川ダムは、平成19年2月の河川整備計画の策定後、環境影響評価法に基づき、当事業による環境への影響を予測・評価し、環境保全措置等を検討して、平成25年2月に環境影響評価書を公告しました。
- ◎ この度、足羽川ダム工事の現地着手するにあたり、評価書を踏まえ実施する環境調査や環境保全措置等の内容について、環境面からの専門家の意見を伺うことを目的として、「足羽川ダム環境モニタリング委員会」を平成26年3月14日に設立しました。
- ◎ また、第1回委員会を、同日に福井県教育センターにおいて開催しました。

### 事務所長挨拶



足羽川ダム工事事務所 宇根 寛 所長

### 委員長挨拶



福原 輝幸 委員長

### 委員名簿 (敬称略、五十音順、◎ 委員長)

氏名	担当分野	現職等
おくむら みつし 奥村 充司	水環境	福井工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授
くぼかみ そうじろう 久保上 宗次郎	鳥類 生態系	猛禽類研究家
なかむら さちよ 中村 幸世	植物	福井市自然史博物館 学芸員
◎ ふくはら てるゆき 福原 輝幸	水環境	福井大学大学院 工学研究科 教授
まつた たかき 松田 隆喜	魚類	福井農林高等学校 教諭

委員会は、5名全員がご出席されました。

# 第1回 足羽川ダム環境モニタリング委員会の議事要旨

## I. 事務局からの報告

事務局より以下の事項を報告しました。

- ・ 足羽川ダム環境モニタリング計画（案）
- ・ 希少植物の移植計画（案）

事務局からの報告に対する委員からの意見及び事務局回答は以下のとおりです。

委員からの意見	事務局回答
クマタカへのコンディショニングは、どのような作業（騒音レベル等）を行うのか。	具体的な方法は未定のため、委員のご意見を頂き、実施方法等を定めます。
クマタカの繁殖行動の確認状況は、もう少し詳細に記載したほうがよい。	繁殖行動の確認状況については、わかりやすい記載とします。
水の濁りとともに、河床の状態を定期的に調査されたい。	生物調査時に、委員のご意見を頂き、河床の状態等を調査します。
洪水後のアジメドジョウの調査は、伏流水箇所に限らず、生息場所を調査したほうがよい。	伏流水箇所に限らず調査します。
イワウメヅルの移植先や湿地整備の箇所を視察させて頂きたい。	ご視察して頂ける場を設定します。
植物の移植は、面積を確保するだけでなく、分散させた方がよい。	リスク分担の観点から、分散も考えて移植を行います。
試験湛水時の水質の監視は、富栄養化等の問題に対して調査は行うのか。	富栄養化等の問題に対して、適切な対応を行えるよう定期的なモニタリングを行います。
今後の地下水位のデータの結果によって、新たな観測点を増やすことを検討されたい。	導水トンネルの設計を行った後に、観測点や深さ等の観測計画の検討を行います。
今後のダム模型実験などの試験や実験は、実際に見学を行いたい。	ご視察して頂ける場を設定します。

## II. 委員会の公開等に関する運営事項

- ・ 審議及び資料は原則公開とします。ただし、希少動植物の確認位置等に係る審議及び掲載部分は、委員の合意を得て、非公開とします。
- ・ 審議結果は議事要旨により公開し、発言委員の個人名は公表しないものとします。
- ・ ビデオ、カメラなどの撮影は、円滑な運営を図るため委員長の挨拶までとします。

## III. 今後の予定

- ・ 現地視察会を開催します。開催時期は、委員との調整の上、お知らせします。
- ・ 委員会は年1回とし、次回は12月から翌年3月頃の間を予定しています。
- ・ 環境調査の結果により懸念がある場合は、委員会開催に限らず、適宜、委員よりご指導・ご助言を頂き、必要に応じて、速やかな対応を行います。